

## 2022年度大学院自然科学教育部先取履修生募集要項

大学院自然科学教育部では、工学部の学生を対象として、工学部在学中に大学院博士前期課程の授業科目を先取履修できます。通常の博士前期課程学生と同様に、成績評価を受けてその科目の単位を修得することが可能です。この単位は、後に博士前期課程に入学した際、修得した単位として認定されます。

### 1. 応募資格

次の(1)～(3)の全てを満たす者

- (1) 本学工学部に在籍して2022年度の卒業研究着手条件を満たす者
- (2) 大学院自然科学教育部へ進学を希望する者
- (3) 学業成績及び人物ともに優れていると認められる者

### 2. 対象科目

- (1) 次ページ参照のうえ、指定する授業科目から希望科目を選んでください。
- (2) 授業内容に関しては、博士前期課程履修案内(シラバス)を参照ください。
- (3) 許可された授業科目を履修することができます。
- (4) 履修した科目について、成績評価で合格した者には大学院自然科学教育部博士前期課程に入学した場合に限り、所定の単位(最大10単位)が認められます。

### 3. 出願期間

2022年3月1日(火)～2022年3月15日(火)16時まで(必着)

### 4. 出願手続

受付は9時から16時までとします。

志願者は次の提出書類等を熊本大学自然科学系事務課工学系教務担当へ提出してください。

- ① 先取履修願(所定様式)
- ② 履歴書(所定様式)

### 5. 選考方法

原則として書類選考及び面接とします。

### 6. 選考結果

選考結果は、個別に連絡します。

### 7. その他

- (1) 出願書類に不備があると、受理できない場合があります。
- (2) 提出された出願書類は返還されません。
- (3) その他の不明点については、熊本大学自然科学系事務課工学系教務担当へ問い合わせてください。授業料等先取履修する授業科目の授業料の負担は、一切ありません。

問合せ先：工学系教務担当 096-342-3522 (ダイヤル)

専攻	教育プログラム	授業科目一覧
	土木工学 地域デザイン	<ul style="list-style-type: none"> <li>・耐震工学 ・環境微生物工学 ・流域生態工学</li> <li>・構造物の劣化と維持管理 ・社会環境マテリアル ・応用岩盤工学</li> <li>・地盤振動学 ・深部地下開発工学 ・応用環境地盤工学</li> <li>・海岸保全工学 ・社会基盤計画論 ・コミュニティマネジメント</li> <li>・社会基盤デザイン論 ・交通政策マネジメント ・環境防災マネジメント</li> <li>・岩盤工学通論 ・情報学と沿岸災害 ・水文工学</li> <li>・運輸安全マネジメント</li> </ul>
土木建築学	建築学	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地震工学特論 ・建築荷重論 ・鉄筋コンクリート構造特論 I</li> <li>・鉄筋コンクリート構造特論 II ・塑性力学 ・建築材料設計</li> <li>・構造計画学 ・材料破壊の力学</li> <li>・建築構造学演習 I ・建築構造学演習 II ・建築構造学演習 III</li> <li>・建築環境学特論 I ・建築環境学特論 II ・建築環境学特論 III</li> <li>・建築環境学演習 I ・建築環境学演習 II ・建築環境学演習 III</li> <li>・日本建築史特論 ・西洋建築史特論 ・建築情報特論 ・都市解析学</li> <li>・建築空間構成法 ・建築プログラミング演習 ・建築プレゼンテーション</li> <li>・施設マネジメント学演習 ・景観情報学演習 ・計画情報学演習</li> <li>・空間情報学演習 ・建築史演習 I ・建築史演習 II</li> <li>・歴史的環境設計演習 I ・歴史的環境設計演習 II</li> </ul>
機械数理工学	機械工学 機械システム	<ul style="list-style-type: none"> <li>・精密加工学特論 ・安全工学特論 ・機械潤滑システム特論</li> <li>・流体工学特論 I ・流体工学特論 II ・熱工学特論 I ・熱工学特論 II</li> <li>・熱工学特論 III ・混相系の科学技術 ・計算力学特論</li> <li>・エネルギー変換工学特論 ・強度設計学特論 ・材料加工学特論</li> <li>・マイクロ・ナノファブ리케이션 ・生体医工学特論</li> <li>・製造環境論 ・計測工学特論 ・知能移動機械論 ・振動工学特論</li> <li>・知的システム特論 ・知能機械特論 ・コンピュータ援用力学</li> <li>・塑性加工学特論 ・固体力学特論 ・製品設計 ・ロバスト制御特論</li> <li>・宇宙機械工学特論</li> </ul>
	数理工学	<ul style="list-style-type: none"> <li>・解析数学特論 I ・確率解析特論 I ・統計科学特論 I ・情報数学特論 I</li> <li>・数理工学特別講義 A ・数理工学特別講義 B</li> <li>・数理工学特別講義 C ・数理工学特別講義 D</li> </ul>
情報電気工学		大学院進学後に所属を希望する教育プログラムの専門基礎科目の選択科目
材料・応用化学	応用生命化学 応用物質化学	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高分子ナノ構造制御論 ・高分子複合材料特論 ・生物分析科学特論</li> <li>・有機材料化学特論 ・高分子分離材料特論 ・医用ナノ材料学</li> <li>・酵素機能化学特論 ・光機能化学特論 ・触媒化学</li> <li>・物質インフォマティクス ・構造無機化学特論</li> <li>・無機材料化学特論 ・機能材料プロセス工学特論 ・反応工学特論</li> <li>・応用電気化学特論 ・界面構造化学特論 ・固体材料分析化学特論</li> </ul>
	物質材料工学	<ul style="list-style-type: none"> <li>・材料塑性工学 ・材料界面物性学 ・材料界面電子化学</li> <li>・連続体力学 ・凝固理論 ・原子力材料工学</li> <li>・計算材料工学 ・非平衡材料工学 ・電子材料物性学</li> <li>・機能性セラミックス材料工学 ・環境材料強度学</li> <li>・先端材料工学 ・微細構造評価学 ・先端材料評価学 ・航空宇宙材料学</li> <li>・マクロ構造評価学</li> </ul>